

筑前町議会だより

うぐいす

2015.August
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

どれにしようかな

もくじ

6月定例会	P2
6月一般会計補正予算	P4
ここが聞きたい 一般質問	P6
議会だよりの愛称決定	P12
こんなこともやっています 議員活動	P13

第39号

2015.8

年4回発行
5月・8月・11月・2月



6月定例会

6月17日から29日の13日間の日程で開催された。
6月定例会は、報告3件・専決8件・議案6件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

報告第1号
**(株)ファーマーズマーケット
みなみの里の経営状況**

町は、(株)ファーマーズマーケットに出資している。当該法人より経営状況を説明する書類の提出があったため、これを承認し、地方自治法の規定により議会に報告する。

答 問

直営部門それぞれの採算性は。直営部門で事務部門を含めた収支を黒字にするのが課題。開発部門は赤字になるので、全体でカバーして、トータル的に黒字にする。
(農林商工課長)

※関連記事を4ページに掲載

報告第2号
**筑前町一般会計予算の継続
費繰越**

町営住宅建替改修事業について、工事出来高により繰り越すもの。

報告第3号
**平成26年度筑前町一般会
計予算の繰越明許費繰越**

総務費については、地方創生事業を繰越予算で実施。商工費については、県支出の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金を県が繰越したために行うもの。

承認第1号

**専決処分を報告し承認を求め
る(以下「専決」と表示)**

**中牟田・昭和線農道改良工
事請負契約に係る議決内
容の変更**

橋梁の土質改良工事で、やむを得ず仮設排水路の設置を行った。

承認第2号「専決」

**多目的運動公園園路広場整
備工事(1工区) 請負契
約の変更**

配分交付金を完全執行するためなどの理由から、工事数量変更するもの。

承認第3号「専決」

**多目的運動公園園路広場整
備工事(2工区) 請負契
約の変更**

問

答

1工区、2工区合わせて千500万円ほど増額になっているが、当初予定の18億を超えないのか。
資材単価や労務費が上がっているので厳しい所はあるが、鋭意努力をしていく。
(都市計画課長)

承認第4号「専決」

**筑前町税条例及び筑前町
税条例の一部を改正する
条例の一部改正**

地方税法が改正されたことにもない、町税条例を改正する必要性が生じたため。

承認第5号「専決」

**筑前町国民健康保険税条例
の一部を改正する条例**

地方税法が改正された事にもない、町国保税条例を改正する必要性が生じたため。

承認第6号「専決」

**筑前町営住宅篠隈団地建替
工事2期工事請負契約の
変更**

答

問

駐車場を5台減らすという事だが、支障はないのか。
子ども健康広場の要望もあり、地域住民の方に親しまれる施設をめざし、一部の駐車場を広場に変更した。(都市計画課長)

承認第7号「専決」
筑前町附属機関に関する条例の一部改正

筑前町総合戦略推進会議の設置に伴い、筑前町附属機関に関する条例の一部を改正する必要があるため。

承認第8号「専決」
平成27年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成26年度国民健康保険会計の歳出に対し歳入が不足する事により、地方自治法施行令に基づき繰上充用を行う必要が生じたため。

議案第26号
曾根田川河川改修事業
薬師前橋架換工事に係る基本協定の変更

河川管理者「福岡県」と道路管理者「筑前町」の事業費負担を定め、協定期間を変更するもの。

議案第27号
平成27年度筑前町一般会計予算(第1号)

問
めくばり館の浴室改修工事の間、浴室は使えないのか。

答
工事中は、敬老館の風呂を沸かす。(福祉課長)

問
特産品加工センター新築工事基本設計委託料では、どのような加工品を想定し、規模はどれくらいか。

答
農産物の6次化の計画を具現化するもので、大豆加工を含めた販売のための施設建設など。規模に関しては基本設計により検討。(農林商工課長)



議案第28号
平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)

水道工事用資器材および残土の仮置き場を新たに購入するため。

議案第29号
平成27年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)

マルヤス工業㈱および四三嶋工業用地買収費など。

議案第30号
財産の取得
筑前町消防団第4分団ポンプ自動車

問
今後の買い替えの予定は。
答
20年更新が基本。今後、平成29年に小型動力ポンプ付軽積載車を2台。平成30年に小型動力ポンプを4台買い替え予定。(環境防災課長)

議案第31号
工事請負契約の締結
多目的運動公園園路広場整備工事(3工区)

問
分離発注するべきでは。
答
分離発注すると諸経費体系が高額になり、発注者側としては不利益になるので、できない。(都市計画課長)

恒久平和は町民の願い

安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書
【提出者】
栗野光雄 議員
【賛成者】
山本一洋 議員
山本久矢 議員

議 発

【趣旨】
本町議会においては、平成19年に「非核・恒久平和都市宣言」に関する決議を全員一致で採択し、平和へ貢献する決意を強く表明している。このように平和を求める本町として、恒久平和は町民の願いである。
現在国会では、わが国の安全保障に関する法案が審議されているが、法案の内容を国民によく見える形で示し、理解を得られたうえで、いささかなりとも国民の不安を招かないよう、国会での十二分な審議を尽くすことを要請するため、国の関係機関へ意見書を提出する。

6月一般会計補正予算

3億5305万円を増額し、総額 124億5069万円

6月補正予算の主なもの

増
額
補
正

工業用地造成事業特別会計 繰出金

四三嶋工業用地の
買い戻しを行うため

2億2310万円

住宅リフォーム補助事業

大人気のため、当初の1千万円(受付終了)に
追加して予算措置をする

400万円

企業誘致関連道路整備事業

四三嶋工業団地内の用地取得

3024万円

特産品加工センター新築工事

基本設計委託料

大豆加工販売センター建設の
設計委託料

494万円

臨時福祉給付金事業

消費税率の引き上げによる影響を
緩和するため

5081万円

子育て応援券交付事業

294万円

みなみの里 きょうも元気に営業中!!



みなみの里の第7期営業報告書と
第8期営業計画書が提出されました。
総売り上げが**5億円突破!**



※5年前との比較

筑前町ファーマーズマーケットみなみの里もオープンして今年で7年目に入りました。昨年度はオープン以来、悲願の売り上げ目標5億円を見事に達成しました。

これも多くのお客様と町内外の出荷者371名(平成27年4月1日現在)、また地元の方々のご支援の賜物だと感謝申し上げます。

現在、みなみの里では新鮮で安心安全な町内で採れたての農作物を中心に工芸品、また農村レストラン「筑膳」、加工品のパン・豆腐・惣菜等を手作りし販売しております。

他の直売所や道の駅とのちがいをつくるためにも手作りにこだわり、多くのお客様から喜んでいただ

いております。そのほとんどのお客様はリピーターとなって何度もご来店いただいております。

さらに、平成27年6月6日には県道77号線(通称山麓線)も全線開通したおかげで、糟屋郡や太宰府市、遠くは筑豊地区からのお客様も日々増加傾向にあります。

みなみの里は、お客様や出荷者、地元の方々から、いつ行っても楽しく過ごしやすい施設でありたいと考えております。

ぜひ、ご来店をお待ちいたしております。従業員一同+ヤギも笑顔で待ってます。

館長 蘇木 雅浩

各議員の賛否

平成27年6月定例会

区分	審議結果	議員名 議案名	深野	田口	横山	山本	奥村	木村	石丸	栗野	山本	川上	福本	梅田	一木	河内	田中
			良二	讓司	善美	一洋	忠義	博文	時次郎	光雄	久矢	康男	秀昭	美代子	哲美	直子	政浩
専決処分	可	専決処分を報告し、承認を求めること（中牟田・昭和線農道改良工事請負契約の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（多目的運動公園園路広場整備工事（1工区）請負契約の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（多目的運動公園園路広場整備工事（2工区）請負契約の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（筑前町税条例及び筑前町税条例の一部を改正する条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（筑前町営住宅篠隈団地建替工事2期工事請負契約の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（筑前町附属機関に関する条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	専決処分を報告し、承認を求めること（平成27年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	曾根田川河川改修事業業師前橋架換工事に係る基本協定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可	平成27年度筑前町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	可	平成27年度筑前町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	平成27年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
追加補正	可	財産の取得（筑前町消防団第4分団消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	工事請負契約の締結（多目的運動公園園路広場整備工事（3工区））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	可	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

議長 矢野 勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席



6月定例会

ここが
聞きたい!

一般質問

町政を問う

6月議会では、12人の議員から21件の一般質問が行われ、町政全般について3日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
(<http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>)

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

一木 町営住宅の入居要件は生活困窮者であることが条件。新たな発想として人口増へ向け、筑前町以外などから、子育てをする若者が、入居できる要件拡大、条件整備が可能となれば、人口増への一助になる。検討を。
都市計画課長 町外などから子育て、若者入居者要件拡大の取組は、公営

都市計画課長 建替え候補地は、東小田団地が適当であると建設委員会が答申した。山麓線の土地利用の変化を期するが、現状は未開発の状況で建設は困難と判断。

一木 日本は少子高齢化人口減少社会へと突入。今、地方（筑前町）創生の大きな将来を展望する時。大胆な発想と思うが、第3期町営住宅を山麓沿線へ建設する検討を求めたい。

第三期町営住宅 建設を山麓沿線に



一木哲美 議員



環境も良い山麓沿線に住宅を

住宅施策の大きな転換となり筑前町の将来展望を見据えた議論が必要。
一木 私は、筑前町の将来を見据え議論している。5年前の検討と今では変わってきた。沿線の活性化・環境が非常に良い中心地ばかりが適地と限定せず、検討を。
町長 町の基本は、働く場と教育。この2つがしっかりと作っていただくことが地方創生に繋がります。

筑前町総合戦略で取り組む

地方（筑前町）創生と 人口減少対策を

婚活支援で人口増へ

一木 結婚、子育て、人口増へ向けた婚活支援の状況は。

こども課長 町内民間事業者が実施している、婚活事業の案内や、福岡県が実施する応援事業などの情報提供を行っていない。予算は計上していない。

一木 汗をかくような事業を。人口減少に歯止め、人口増へ繋がる事業の展開をお願いしたい。

就職支援で

定住人口増へ 窓口設置が必要

一木 定住人口増に向けた就職（求職と求人）支援を町がサポートすべき。窓口開設の検討を。
農林商工課長 戦略会議等のなかで、議論したい。



深野良二 議員

生活困窮者自立支援法に 対する町の考え・ 周知・研修は

深野 生活困窮者自立支援法に対する町の考えは。

福祉課長 町全体として

取り組む必要がある。有効活用視点も含め検討。

深野 周知及び体制については。

福祉課長 庁舎内ポスターの掲示をはじめ町広報誌のくらしの情報に連載し、防災無線でも周知を図る。また、民間企業や事業所へのチラシやポ

生活困窮者への相談会の呼びかけ



生活困窮者自立支援法を 実効あるものに

職員が相談案件をよく傾聴し、町全体として取り組む必要がある

スター掲示については、事業主体の県への対応を要請している。

深野 職員研修の実施状況は。

福祉課長 庁議において

法の内容と趣旨について

民生委員の従来の 活動を推進する ために負担軽減を

周知している。

深野 民生委員協力員制度を創設したらどうか。

福祉課長 民生委員の負担軽減のためにも、充て職的な依頼をしている団体などに意見し、活動環

境の整備に理解と協力を求めている。

深野 協力委員制度を設置することで、民生委員の負担軽減と地域福祉の担い手の掘り起こしにつながる。早急な対応を。



くらし・仕事・家計困りごと相談室

財政計画は 客観的に

福本 財政問題は誰しも強く関心がある。合併後10年を迎え、国からの交付税が一部削減され、扶助費負担増が見込まれる中、財政安定化の方向に進むべき。財政計画の検証を。健全化に向けて、どのように考えているのか。

財政課長 本町の交付税は合併算定替えにより、11年経過した段階で削減され、今後も流動的な動きがあり毎年検証していく。町税については、課税客体の確かな把握と徴収率のアップにより、自主財源の確保を図っていく。

福本 検証においては滞納問題で徴収率を高め、現年分としては成果があった。発行額の元金償還額の9割以内にとどめる。幅広い検証の成果が今後活かせるのでは。

財政課長 決算の時点で検証して予算編成の基にする。7月からの総合計画のヒアリングを踏まえ財政計画を見直したい。

福本 合併後10年を振り返って、町は最高の投資を果たしてきた。成果もあり、私たちの誇りでもある。財政健全化に向けて町長の考えは。

町長 現状は健全財政であると財務省九州支局からの解答あり、財政問題は客観的に捉えるべきだ。将来的にハード事業も抑制の方向で、町も国

財政課長 実質公債比率並びに将来負担比率が急激に5年を下がる状況がない。償還のピークが普通会計で30年、特別会計が33年と、5力年では解決できない。

財政課長 決算の時点で検証して予算編成の基にする。7月からの総合計画のヒアリングを踏まえ財政計画を見直したい。

福本 福祉関係の問題も含め財政計画5カ年計画の指標、数値を抑え込むことができるのか。



福本秀昭 議員



健全財政を目指して

財政健全化は常備薬だ

現状は健全財政である

財政課長 決算の時点で検証して予算編成の基にする。7月からの総合計画のヒアリングを踏まえ財政計画を見直したい。

福本 福祉関係の問題も含め財政計画5カ年計画の指標、数値を抑え込むことができるのか。

財政課長 実質公債比率並びに将来負担比率が急激に5年を下がる状況がない。償還のピークが普通会計で30年、特別会計が33年と、5力年では解決できない。



横山善美 議員

農業・農地の 現状把握は できているか

横山 本町の農地面積は2千563・56haと聞いていますが、今後農業の動向は、**農林商工課長** 本町でも近年、兼業化や高齢化が進行するなど、深刻な状況に直面している。農業従事者の65歳以上高齢化率は57.9%となっている。**横山** 遊休農地と耕作放棄地についてどのくらいあるのか。また今後の活動推進計画は。**農林商工課長** 遊休農地1.8haと耕作放棄地18.9ha、合計20.7ha（農地面積の0.81%）を確認している。毎年農業委員で増減を確認し、土地所有者に遊休農地の意向調査を予定している。また、全国の遊休農地対策事例を調査研究する。

耕作放棄地の取り扱いは

土地所有者に意向調査する



荒れはてた耕作放棄地

空家対策の 取り組みについて

横山 周辺に危険や迷惑を及ぼす空家の解消を図るために、空家対策特別措置法が本年5月26日に全面施行となったが、本町での対策協議会の組織計画は。**総務課長** 実態調査をし

て協議会は作っていく予定だが、福岡県空家対策

連絡協議会において、統一した基準が作られるので、県と歩調を合わせて取り組む。**横山** 危険な空家は、火災・倒壊・犯罪の温床になりうる。早急に空家対策を町全体で行わなければならない。

その他の質問
・未利用の建物の現状

増える交通弱者対策 を急げ

石丸 本年度からそつたくタクシー券事業が廃止となったが、理由は。**福祉課長** 福祉事業は、交付基準の明確さが必要。本事業は年齢が基準であるため、福祉施策としては課題が多い。今後は継続可能な移動、外出支援に移行する必要があると考える。

石丸 町は将来の公共交通のあり方について、これまで、調査・研究に取り組んできた。今後はデマンドタクシー等も視野に検討するとのことだが、考えを。

町長 本町では南北移動が脆弱である。公共交通空白地域の存在等を踏まえ、今後の高齢化社会に備え、地域巡回バスを試行運行している。デマンドタクシー制度（予約型乗合タクシー）等についても、将来的に持続可能

な公共交通体系の一つとして研究していく。

喜びの声が 買い物支援事業に

石丸 高齢化社会が進む中で、買い物弱者問題は喫緊の課題。そつたく基金を活用した買い物支援事業の内容は。**農林商工課長** みなみの里では、平成24年度から



好評だった出張販売

石丸 本事業は高齢者の買い物支援にとどまらず、連鎖的に事業展開が可能と考える。これまでの取り組みを総括し、具体的な研究に着手すべきと考えるが。

町長 買い物支援事業は、地方創生の施策の一つとなり得る可能性を持つものと考えられる。総合的な視点から議論を深め、地方創生のテーマにもあげていきたい。

その他の質問
・三輪中学校体育館建て替え

待ったなし

高齢者支援対策

総合的な視点で議論を深める



川上康男 議員

米価が下落しているなか、大豆生産拡大が必要だ

川上 国・県が進めている大豆の生産拡大が重要だ。

農林商工課長 本町の大豆は市場評価も高く需要もある。生産拡大を推進すべきと考えている。

川上 畑作物である大豆・麦の作付は、排水対策が重要である。本年度計上した暗渠排水事業費がゼロとなったが、何が原因でなかったのか。

農林商工課長 245haの申し込みがあり、5年7年かけて施行計画していたが、本年度予算はゼロとなった。農地中間管理機構制度を利用促進したところに、優先して予算配分する国の方針でこのような形になった。

川上 国・県に再度要望はしたのか。

農林商工課長 25年度まで行った県営の暗渠排水

本町の農業生産拡大は大豆が一番だ

大豆生産の振興は賛成だ

第2期事業を強く要望している。また、福岡県を通じて27年度の新規事業についても、補正予算などの要望も行っている。

川上 トップ交渉で暗渠排水がスムーズにできるようにお願いしたいが。

町長 私も直接、地元選出の県会議員や県の部長等に実情を訴えている。同時に、県議会でも取り上げるようにお願いしている。私も行政を通じて補正予算を組んでいただきたく強く要望している。

川上 本町は黒大豆に力を注いでいるが、白大豆も頑張っている。農林大臣賞を受賞し、実需者からの引き合いも多い。町と生産者とJAが一体となり、活性化のために大豆生産の拡大を。



大変人気のある本町の黒大豆

生活困窮者自立支援制度の周知が重要

重要

梅田 町の相談窓口は福祉課と位置づけ福祉課に0120番号（フリーダイヤル）の設置を。

福祉課長 各担当課が県と連携する。0120番号は、県が対応すると言っている。

子どもの貧困対策に丁寧な支援を

丁寧な支援を

梅田 町のひとり親世帯数、未来センターへの相談件数、学校での相談件数・内容は。

こども課長 平成22年度ひとり親世帯165世帯、全世帯の1.7%。未来センターは6割が養護相談。

教育課長 貧困に特化した相談ではないが、スクールソーシャルワーカーへの相談件数は平成26年度100件、今年度現在80件。就学援助は増加傾向で平

成26年度220名、今年度現在250名。高等学校等奨学金は予算の確保に努めている。

梅田 「習い事」の実態と助成の考えは。

教育課長 小学校75%、中学校60%の子どもが「習い事」に通っている。町長 直接的助成ではなく、少年自然の家等の情報提供をすべきと考え

地域に女性進出・活躍を推進する男女共同参画第3次プラン策定を

第3次プラン策定を

梅田 平成23年3月策定の第2次プランには「地域の中で女性参画は進んでいない。女性が参加しやすい雰囲気づくりが必要」と記載がある。今年3月発行の住民意識調査報告書でも、同じ課題

が記載されている。第3次プランへの重点項目とすべき。

企画課長 区の運営メンバーに女性になるよう期待する行政区が増えていることは、今後の進展につなが

ると思う。



地域力×女性力＝無限大の未来

男女共同参画推進にはクォーター制の導入を

行政区は住民自治である受け入れ体制が優先



奥村忠義 議員

本町の空家対策は

奥村 国の空家対策特別措置法の全面施行にともない、国土交通省は特定空家の指針を定めたが、本町のガイドラインは、

総務課長 国の特別措置法の施行により、町の条例制定は必要ない。副町長ほか、8名の課長で検討委員会を設置して、特別措置法にそって進めていく。

奥村 検討委員会のメンバーに町民は入れないのか。

総務課長 今回は庁舎内の検討委員会なので入れない。今後は実態調査を行い、空家対策計画を作っていくうえで専門家、住民代表の参加が必要になる。

奥村 戸別対策として、区長の協力を仰いで。また、専任の職員を配置し、空家対策窓口を設けては。

空家対策条例の設置は

国の特別措置法にそって進めていく



主を待つ空き家

総務課長 固定資産税台帳の情報を活用して管理者、納付者を把握し指導につなげる。

奥村 通学路に隣接している危険な空家は、衛生面で著しく有害となる恐れがある。特定空家の認定を行うべきだ。

総務課長 地域への悪影響が懸念される場所については、環境美化推進条例で対応していく。空家の活用については、実態調査の後、基準によって判定するとともに、空家対策計画づくりの中で利活用を検討する。

総務課長 戸別対策、戸別訪問、そして専任職員の配置になると思う。外観目視で特定家屋と判断される空家対策特別措置法の定める範囲内で措置をしていかなければならない。

奥村 持ち主が分からない倒壊寸前の空家等は、どう対処するのか。

地域と共に

子どもたちを

育むために

山本 教職員の勤務の状況と健康状態は。

教育課長 休暇取得の促進や、相談会を設けて健康管理にも配慮している。

山本 校内外の研修発表や研究会などが多いため、多忙感が増しているのでは。

教育課長 学校力の維持向上を図り、教職員の資質向上に努めている。

山本 研修内容の見直しを行い、もっと子どもたちと向き合う時間を。

教育課長 加配措置や公務分掌の負担軽減など、人的・物的支援を積極的に行っている。

山本 外部指導員の積極的な活用を。

教育課長 地域と共に育む学校づくりに資する。積極的に支援したい。

基幹産業である

農業の振興を

山本 新規後継者となり農業を志す人のために、農業機械導入の制度資金支援ができないか。

農林商工課長 現段階では、担い手・認定農業者支援をしております。

山本 法人化が進んでいないが、具体的な方策は。

農林商工課長 法人化することによるメリットや、交付金制度の活用を推進する。

山本 法人化を進めるための多角経営メニューを示すべきでは。

農林商工課長 経営ビジョンを描き、集落営農組織で話し合う機会を設けたい。

山本 農業振興地域整備計画の考えはないか。耕作放棄地を含め、里山が荒れてきているのではないか。

農林商工課長 農業振興

地域除外の計画はないが、山間部ではクヌギなどを植えて、シイタケなどの原木栽培などを検討したい。

山本 耕作放棄地や遊休農地の里山の再生のため、オリーブ栽培や農体験農園の導入は。

農林商工課長 体験農園

は遊休農地解消の一助となると考えている。



荒廃が進む里山

小中学校教職員の

多忙感の解消を

働きやすい職場環境整備を行うことで、負担軽減に努める



兼野光雄 議員

ふるさと納税の実態は

兼野 ふるさと納税の件数、金額は。

企画課長 平成24年度36件、47万5千円。25年度208件、249万円。26年度158件、211万円。

兼野 返礼品で、人気の商品は。

企画課長 一位は、いちご。二・三位は、ほぼ同数でトマトと梨。次は米の食比べセットとなっている。

兼野 寄付金の使用状況は。



大変人気のある返礼品

低圧ルームの設置を

検討・研究を重ねていきたい

企画課長 赤ちゃんの事業の備品購入約23万円。草場川桜並木の補植約49万円。残りは応援基金に積み立てて、事業ごとに一定額に達した場合に活用。

低圧ルームを

設置しては

兼野 4月から国民健康保険の値上げで、どれくらい増税の予定になるのか。

健康課長 国民健康保険特別事業会計が毎年2億円の赤字の見込み。そのため、一般会計から1億円を繰り入れ、3千万円

は医療費削減、残りの7千万円は国民健康保険の増税で解消する。

兼野 町は定期検診を推進し、ラジオ体操、ウォーキングが進められ、住民の意識高揚に努めている。低圧ルームをコスモス敬老館、めくばり館のどちらかに設置したらどうか。

副町長 低圧ルームについては、スポーツ選手にはかなりの効果があると聞いている。専門家の意見を聞きながら検討・研究を重ねていきたい。

※低圧ルームとは、標高3千200mの気圧に設定した部屋のこと。気圧が下がると血流が良くなり体温が上昇するなどの体験者の声がある。なお、個人の感想である。

給食費の繰越金は

適正か

河内 保護者が支払った給食費の増額分の約半分が、次年度に繰り越されている。適正な金額といえるのか。

教育課長 十分協議を重ね、適切な給食会計の管理に努めるよう依頼した。

保育料滞納者への

対応は

河内 直接契約の施設で滞納が発生した場合、町はどう対応するのか。

こども課長 相談を受けた場合については、必要に応じて分納相談や保育所の斡旋などによる対応をしていく。

環境を守らせる

指導を

河内 町内の至る所に環境を損う事象が見受けられる。指導はどのようにしているのか。

環境防災課長 土地の所有者に対し適切な管理を文書で通知している。野焼きについては法的には罰則の対象になっていないが、すき込むことをお願いしている。

住宅リフォーム助成

制度の継続を

河内 住民ニーズの高い事業であり、継続して取り組むべきと考えるが。

町長 本年度以降については、さらなる国からの交付金等をいろいろ検討し、予算編成時に再度検討したい。

敬老館の利用者を

増やす手立てを

河内 常設サロンが開設されたが、敬老館の利用者が減っている。増やす手立ては。また、めくばり館でのサロン開設は。

福祉課長 コスモス館全体での利用の幅が広がったと考えてもらいたい。めくばり館での開設は考えていない。



健康体操でいきいき

住宅リフォーム助成は

補正で対応せよ

27年度申請者には対応する



田中政浩 議員

社会保障・税・災害 対策で効率的に

田中 マイナンバー制度導入にむけて、町民にいつから、どのように周知するのか。

総務課長 町のホームページで周知する。また、広報ちくぜんの8月号で制度概要、9月号で通知カード様式、10月号で個人番号カードの保管利用紹介、11月号でカード申請について記載する予定。県では事業者向けのマイナンバー制度説明会を実施する。

田中 マイナンバー制度のメリット・デメリットは。

総務課長 メリットは3点ある。①公平・公正な社会の実現。②国民の利便性の向上。③行政の効率化。デメリットは、世論調査では、番号や個人情報流出し不正利用が不安との意見がある。また、国の金融資産等の監視・プライバシーの侵害等が懸念されるという意見がある。大事なマイナンバーを安易に外部の人に教えない自衛策が必要。

情報一元化で 大丈夫なのかマイナンバー

個人の自衛策が必要

視・プライバシーの侵害等が懸念されるという意見がある。大事なマイナンバーを安易に外部の人に教えない自衛策が必要。

インターネットによるクレジット決済の導入を。
企画課長 平成27年9月からの新制度開始にむけてクレジット決済も準備中。一部を除き、コンビニでも寄付できるようになる。

田中

お礼の品物が数年前から変化なし。新規ふるさとバックに、大刀洗平和記念館の入場券や花立山温泉の宿泊券や入場券を導入しては。

企画課長 品物だけではなく、サービスの提供なども幅広く検討したい。知恵と工夫を凝らして、改善する。

その他の質問

・筑前町の入札制度
・一般質問の追跡調査
・安野地区暗渠用水路



マイナンバー 10月から、あなたにもマイナンバー(12桁の個人番号)が通知されます。法人には、法人番号が通知されます。

ふるさと納税で 筑前町に貢献したい

田中 ふるさと納税のイ

～地方議会改革度 ランキング九州第7位～

総合順位		議会	項目別順位		
九州	全国		情報公開	住民参加	機能強化
1	32	福岡県古賀市	55	91	39
2	33	鹿児島県	119	12	79
3	38	大分県佐伯市	178	13	74
4	47	大分市	246	129	22
5	49	鹿児島県霧島市	152	10	174
6	63	北九州市	64	421	42
7	65	福岡県筑前町	349	18	88

早稲田大学マニフェスト研究所が全国の議会にアンケート調査を行い、地方議会のランキングを発表した。全議会の84%に当たる1503議会が回答した。九州では、福岡県古賀市議会(全国32位)がトップ。わが筑前町議会は九州第7位(福岡県3位、全国65位)だった。

ランキング表からもわかるように、区長会などの団体との意見交換会を積極的に行っていることが評価された(住民参加)。今後の課題は、議会生中継などの情報公開を積極的に行う必要がある(情報公開)。

議会だよりの愛称決定

うぐいす

名付け親は 木下くるみさん

議会だより第38号で、議会だよりの愛称を募集したところ、多くの方にご応募いただきました。ありがとうございました。

選考の結果、夜須中学校1年の木下くるみさんの「うぐいす」に決定しました。

くるみさんのコメント

町の鳥がうぐいすで、家の裏庭でうぐいすが鳴いていたので、この名前に応募しました。



～こんなこともやっています～ 議会活動



7月2日(木) 区長会との意見交換

区長会の中尾会長をはじめ、行政区長 31 名（全 51 行政区長）と議員 15 名で、めくば一る学習館視聴覚室で意見交換を行った。各委員会（総務・文教厚生・産業建設・議会活性化検討・地方創生）の報告や事前に提出された質問書の回答を報告・討議した。

7月8日(水) 熊本県菊池郡大津町議会運営委員会 視察研修

大津町から津田 議会運営委員長をはじめ、5名の議員と総務部長・議会事務局長の合計7名が来庁。

視察の内容は、議会活性化について。議会活性化検討委員会がパワーポイントを使って説明した。議員定数・報酬・政務調査費・委員会活動状況・特産品等について質疑応答した。研修後は、ファーマーズマーケットみなの里を案内した。



7月10日(金) 新任議員研修

福岡県町村議会議長会主催の新任議員研修に筑前町の新任議員5名が参加した。この研修は、地方統一選挙がある4年に一度行われ、福岡県内の町村議会の議員のみが参加した。

「議員は町民の声を広く聴き、思いや願いを施策に結びつけていく」この言葉を再確認し、これからの議員活動を頑張っていくと誓った。



～ようこそ筑前町へ～ 議員視察の予定

自分の町をもっとよくするためには、先進地に学ぶのが一番。ということで、筑前町のいいところを学ぶために、福岡県内外からたくさんの議員が視察されます。今後の予定を紹介します。

年月日	視察目的	来庁者	人数
H27.7.22	議会基本条例、議会活性化の取り組み	宮崎県東臼杵郡町村議長会 (門川町議長、美郷町議長、諸塚村議長、椎葉村議長)	10
H27.8.3	議会基本条例、議会活性化の取り組み	鹿児島県さつま町議会運営委員会	8

傍聴 をしての感想

はじめて参加しました。法
や制度についてよく学習し、
地域の声を基に一般質問さ
れていたことに感動すら覺
えました。機会があればまた
傍聴します。

(Y・Kさん)

初めて参加して、議員の活
動が少しわかりました。
一般質問で、地方創生の話
が出ましたが、町でも就職活
動を支援してほしい。地元の
人が地元で就職できるよう
にしてみたい。

(K・Fさん)

6月定例会の傍聴者数は40人でした。
傍聴はどなたでもできます。多くの方をお待ちしています。

傍聴へ
どうぞ!

平成27年 9月定例会(予定)

- 開会
9月3日(木) 10:00～
- 一般質問
9月8日(火) 10:00～
～10日(木) //
- 決算審査特別委員会
9月15日(火) 10:00～
～17日(木) //
- 閉会
9月18日(金) 14:00～

※会期予定は8月21日の議会運営委員会
で確定のため、変更する場合があります。

vol.9 街角 TOPICS

下高場区

盛り上がった 大神宮夏祭り

下高場大神宮様の三大
祭りの一つで、夏の恒例行
事の「下高場大神宮夏祭り
(よど)」が今年も盛大に行
われました。
夏祭り(よど)は、「宵宮
(よいみや)」の意味で、一
年の前半をふりかえり、後
半六か月の健康を願うと
ともに季節から疫病注意、
防止や五穀豊穡を願うお
祭りと聞いております。
境内には、たくさんのお
店があり、浴衣姿の子ども
たちの元気な姿を見るこ
とができました。
夕方からは、ラジオ体操
に始まり、幼稚園児の踊
り、ラムネ・ビールの早飲
みやカラオケ大会があり
ました。
最後は250名以上の参加
者による大抽選会があり
最後まで大盛況でした。
(区長 横山了介)



プロ顔負けの歌唱力

編 集 後 記

長年の念願だった、山麓線(県
道77号線)が開通しました。利便
性がよくなり、多くの皆さんが
わが町を訪れ、町のさらなる発
展につながることを期待します。
これからは、暑さが増してき
ます。熱中症も起こりやすい季
節です。クラブ活動や野外での作
業等は水分を十分に取るように
しましょう。
(山本 久矢)



発行責任者 議長 矢野 勉 議会広報特別委員会

委員長 木村 博文
副委員長 山本 久矢
委員 深野 良二
委員 田口 謙司
委員 横山 善美
委員 奥村 忠義